

航空機搭載レーザプロファイラがとらえた岩手山（3）

—DSM (Digital Surface Model) と DTM (Digital Terrain Model) の比較—

データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

データ収集：アジア航測（株）

74号から開始しました航空機搭載レーザプロファイラ（スキャン型レーザ測距装置）データ（LP データ：Laser Profiler Data）のシリーズも本号で最終となります。上段は、「オルソフォト画像」と「被覆面の高度データ（DSM：Digital Surface Model、メッシュサイズ1m）」を重ね合わせて3次元表示した結果です（鳥瞰図：前号掲載）。この高度データから地表被覆物（樹木等）の高さを差し引いて「地盤面の高さ」を計算・画像化したものが、下段の「数値地形モデル（DTM：Digital Terrain Model）」です。DSM と DTM を併用することによって、地形と地表被覆物の関係分析、斜面崩壊危険箇所の推定問題、林相分析等、適用分野別に分析の視野が広がるものと期待されています。

